

別紙2 機能要件一覧

(事業者名)

要件定義			
大項目	No.	要件	詳細
■基本要件			
	1	伊勢市公式LINEアカウントを利用する市民等（以下「市公式LINE利用者」という。）が、現行の伊勢市LINE公式アカウントを通じて、新サービスの機能を利用できること。	
	2	新サービスにおいて、現行サービスで保有している市公式LINE利用者の登録情報および関連データを、新サービスの初期データとして移行（登録）すること。	データ移行を想定している項目は次のとおりとする。
			①受信設定データ 受信設定人数：19,800人 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：年代 お住まいの地域 お住まいのエリア 受信したい情報 等
			②受信設定データ ※小俣幼稚園・明野幼稚園・おおぞら児童園 受信設定人数：500人 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：保護者の氏名 通園人数 児童の氏名 児童の生年月日 等

対応可否欄記載例	
◎	標準対応で提案に含む (標準またはオプションにより提供される機能)
○	代替運用対応で提案に含む (標準またはオプションで提供される複数の機能の利用で実現)
△	カスタマイズ対応で提案に含む (カスタマイズにより対応する機能)
×	対応不可 (サービスでの対応が不可能)または提案の対象外 ※必須機能に×が付される場合は、失格となります。

必須 機能	要望 機能	回答欄	
		対応 可否	備考
○			
○			

			③一時保育の利用登録データ 登録人数 ：1,876人 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：児童の氏名 児童の年齢 保護者の氏名 続柄 住所 等
			④交流広場「あそびーな」の利用登録データ 登録人数 ：11,430人 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：氏名 氏名フリガナ 郵便番号 住所 電話番号 等
			⑤チャットボットのシナリオデータ 登録情報 ：総合案内 ごみ分別 障がい福祉 伊勢総合病院 公共交通
			⑥スタンプラリーの登録データ 登録データ数：13か所 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：施設名 住所 写真 等
			⑦スタンプラリーの獲得データ 登録人数 ：686人 ※令和7年7月末時点 登録情報 ：施設名 獲得履歴 獲得日時
			⑧登録済アンケート質問項目データ 対象情報 ： 既に登録されているアンケートの質問項目データすべて
	3	サービスを管理・運営する本市の職員（以下「管理職員」という。）とサービスを利用する本市の職員(以下「一般職員」という)の動作環境は、指定する機器環境に対応すること。	管理職員と一般職員の動作環境は次のとおりとする。 <パソコン> ・OS：Windows11/64bit以上 ・ブラウザ：Google Chrome、Microsoft Edge（※いずれも最新バージョン）
	4		<スマートフォン・タブレット> ・OS：AndroidOS、iOS、iPadOS（最新バージョン） ・ブラウザ：Google Chrome、Safari（最新バージョン）

	○		
	○		

	3	メニューのレイアウトやタップした後の挙動は、管理職員が変更できること。			○			
	4	メニューを更新する場合、更新日時を設定することができること。				○		
	5	受信設定のデータに基づいて、表示するメニューの内容を任意に切り替えることができること。	県外の方には観光メニューを表示等。				○	
予約機能	1	市公式LINE利用者が見やすい形で空き枠を表示するための機能（カレンダー等）を有しており、予約の受付及び管理ができること。	他サービスとの連携可。			○		
	2	受け付けた予約情報について、本市職員の管理画面からカレンダー形式等の見やすい形で確認できること。				○		
	3	受け付けた予約情報について、本市職員の管理画面から残予約可能数を確認できること。				○		
	4	予約受付開始日・終了日、予約可能日、予約項目、予約可能数は、本市職員が自由に設定できること。				○		
	5	予約受付開始日・終了日、予約可能日、予約項目、予約可能数は、予約受付開始後であっても、本市職員が任意に変更できること。				○		
	6	予約を受け付けた市公式LINE利用者全員にメッセージを配信できること。				○		
	7	予約を受け付けた特定の市公式LINE利用者を指定しメッセージを配信できること。					○	
	8	予約可能数に対して、先着とするか抽選とするかを設定できること。					○	
	9	予約可能数に対して、抽選とする場合は、自動で抽選を実施する機能を有していること。					○	
	10	予約可能数に対して、抽選を実施した場合、当選者と落選者に対してメッセージを送信できること。					○	
	11	受け付けた予約に対し、直接「本予約」とすること。また「仮予約」とし、本市職員が承認後に「本予約」とすることができること。				○		
	12	口頭で受け付けた予約を、本市職員が管理画面から入力できること。				○		
	13	予約日より前の任意のタイミングでリマインドメッセージを自動配信できること。				○		
	14	リマインドメッセージは、任意の内容で設定できること。					○	
	15	受け付けた予約データを本市職員がCSVファイル等で出力できること。				○		
	16	CSVファイル等をインポートすることにより、予約データとして反映させることができること。				○		
	17	誤ったCSVファイルをインポートしようとした場合、防止する機能を有していること。					○	
	18	予約前に、予約サービス利用者へ利用登録を求めることができること。					○	
	19	利用登録の申請直後に「本登録」とすること。また「仮登録」の状態とし、本市職員が承認後「本登録」とすることができること。					○	
	20	利用登録時、既に予約サービスの利用登録済の市公式LINE利用者（以下、「登録者」という。）が、重複して登録できないように設定できること。					○	
	21	利用サービス登録者別に、1か月あたりの予約可能な数を設定できること。					○	
	22	同一の予約サービスを利用する登録者が、重複して予約することを防止できること。				○		
	23	受け付けた予約を、利用者がキャンセルでき、キャンセル可能日時を指定できること。				○		
	24	キャンセル待ちの機能を有していること。				○		
	25	利用者が予約を変更したり、登録情報の変更ができること。					○	

	26	1度登録した利用者情報は、再入力しなくても自動で表示できること。	
決済機能	1	アンケート機能や予約機能等との連携を利用して手続きを行った際、または施設等の利用後に利用料等を決済できること。	
	2	各種クレジットカード、二次元コード決済といった、キャッシュレス決済に対応できること。	対応可能な決済種別を全て記載すること。（今後対応予定のものについては、そのことが分かるように明記すること。）
	3	施設等の利用後に決済依頼を送る場合は、本市職員の管理画面から金額等を設定できること。	
	4	二重払いを防止する仕組みを有していること。	
ポイント機能	1	フォーム入力や二次元コード等を通じて、ポイントを付与することができること。	
	2	付与されたポイントを市公式LINE利用者側の画面から確認することができること。	
	3	ポイントを一定数貯めた市公式LINE利用者に対し、メッセージやアンケートを自動配信できること。	
	4	付与されたポイントを本市職員の管理画面から確認でき、編集することもできること。	
スタンプラリー機能	1	二次元コードを読み取ったり、GPSの位置情報を得る、Bluetooth機能などを利用して、指定された場所に行くと、スタンプを貯めることができる機能を有すること。	
	2	貯めたスタンプは、市公式LINE利用者側から確認できること。	
	3	スタンプを一定数貯めた市公式LINE利用者に対し、メッセージを配信できること。	
	4	貯めたスタンプを本市職員の管理画面から確認でき、編集することもできること。	
クーポン機能	1	市公式LINE利用者に対し、クーポンを配布できること。	LINE社のクーポン機能以外にも可。 ※対応しているクーポンを備考欄に記載すること。
	2	クーポンの配布対象者を限定できること。	アンケートの回答者や、特定の二次元コードを読み取った人等。
チェックイン機能	1	二次元コードやGPS、Bluetooth等、スマートフォンの機能を活用したチェックイン機能を有していること。	
	2	イベント等の開催前に事前登録ができること。	
	3	事前登録の情報を活用して、当日の受付処理ができること。	事前登録時に生成した二次元コードを読み取ることで受付処理ができる等、具体的な内容を備考欄に記載すること。
	4	事前登録件数、当日受付件数を本市職員の管理画面から確認できること。	
	5	イベント開催日時以前の受付処理を制限する機能を有していること。	
	6	同一市公式LINE利用者による重複受付を検知し、制限する機能を有していること。	二次元コードを読み込める回数を制限する、何度読み取っても1回とカウントする等。
	7	設定した日時に、チェックインした人数を、指定のメールアドレスに自動配信する機能を有していること。	
防災メール連携機能	1	本市で稼働中の防災に係るメール配信システム（すぐメールPlus+）により送信するメールを、メール配信システム側の改修を行うことなく本サービスで自動配信できること。	本市で稼働している防災に係るメール配信システムの概要について別紙3「防災メール連携の概要」を確認すること。
	2	セグメント配信の受信設定によって設定された配信グループに送信できること。	

	○		
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
	○		
○			
○			

スポット機能	1	市公式LINE利用者の位置情報に応じて、周辺の市関係施設等を地図上に表示できること。	
	2	施設分類別に指定した施設を地図上に表示できること。	
データ取得・可視化機能	1	各メッセージの配信日時・配信人数・既読（開封）人数・URLのタップ数のデータを取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	2	アンケートに関するデータ（回答日時・各質問項目への回答）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	3	チャットボットに関するデータ（各チャットボットの起動回数・起動日時）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	4	予約に関するデータ（予約を受け付けた施設等の名称・予約日・市の指定する質問項目への回答・各日の予約件数）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	5	決済に関するデータ（決済者氏名・決済日時・決済金額・決済方法）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	6	ポイントに関するデータ（利用者氏名・各利用者の累積ポイント・市の指定する質問項目への回答）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	7	スタンプラリーに関するデータ（各利用者の取得スタンプ）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	8	チェックインに関するデータ（事前登録件数・当日のチェックイン件数・市の指定する質問項目への回答）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	9	クーポンに関するデータ（クーポンの利用件数・市の指定する質問項目への回答）を取得・可視化できること。	どのような形式で可視化されるのか、具体的な内容を企画提案書に記載すること
	10	各機能を利用した市公式LINE利用者からフィードバックを取得する機能を有していること。	市公式LINE利用者対象のアンケート機能等。
	11	フィードバックの実施有無は、市公式LINE利用者が自由に選択できること。	
	12	メッセージ配信及び各種機能を利用した市公式LINE利用者の行動履歴を本市職員の管理画面で確認できること。	メッセージ配信を起点とし、市公式LINE利用者がその後どのような行動を取ったか、そのWEBサイトに遷移したかといった行動履歴が取れることを想定。
その他の機能	1	管理画面上で回答データを一括選択し削除できる機能を有していること。	
	2	削除対象のデータ項目を任意に選択できる機能を有していること。	アンケートごと、月ごと等。

○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
○			
	○		
	○		
	○		
○			
	○		